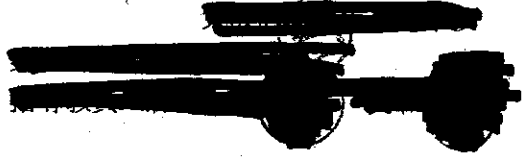


高等学校 外国語（英語）科 学習指導案



1. 日時 : 平成29年6月16日(金) 1限目(8:40~9:30)
2. 学科 : 総合科学科 1年3組 (20名)
3. 場所 : ミーティングルーム1
4. 科目名 : 英語R
5. 単元名 : Lesson2 More than just a piece of Cloth
6. 教材名 : Genius English Communication I、学習ノート

<授業テーマ>

日本の風呂敷の歴史や意義、また世界の「包む」文化を理解する。

<生徒観>

クラスの生徒は毎回の授業にしっかり取り組んでおり、積極的に英語を学ぶ姿勢が見受けられる。しかし、授業内容は4月当初よりも難易度が少しずつ高くなっているため、生徒が英語に対して苦手意識を持たないように、視覚教材を使用する等工夫をしている。英語での言語活動においては、生徒が理解できる比較的簡単な英語を使って指示を出すことを常に留意している。

<指導観>

授業で本文内容の解説が続く際は、生徒が退屈しないよう、補足情報や写真・図を提示するように工夫している。また、文法事項や内容理解の定着を図る際には、ペアやグループワークを通して活動を取り入れている。授業では、生徒の様子を確認しながら授業を行うよう留意している。

<学習目標(Part4)>

- 助動詞の使い方や関係代名詞の文の構造を理解することができる。
- 日本の包む文化だけでなく、世界の「包む」文化についても理解することができる。
- 間違いを恐れずに積極的に言語活動に取り組むことができる。

<評価>

それぞれの項目において

- A. 十分満足できる
 - B. おおむね満足できる
 - C. 努力を要する
- の3段階で評価する。

コミュニケーションへの関心・意欲・態度[A]	外国語表現の能力 [B]	外国語理解の能力 [C]	言語に関する知識・表現 [D]
①言語活動に積極的に参加することができる。 ②既知の語句や文法を使って一生懸命英語を使っている。	①間違いを恐れず、既習の単語や文法事項を用いて自分の考えを書いたり話したりすることができる。	①説明文を読み、内容についての概要や要点を理解することができる。	①助動詞の用法・関係代名詞の文の構造を理解することができる。 ②本文中のキーセンテンスや本文全体の内容を理解することができる。

<単元の指導計画>

パート	学習内容	評価基準
Part1	イギリスでのクリスマスに起こる包装用紙の無駄遣いについて理解する。	[C]① [D]①②
Part2	風呂敷の歴史について理解する。	[C]① [D]①②
Part3	環境保護の視点からの風呂敷の利点について理解する。	[C]① [D]①②
Part4 (本時)	世界の「包む」文化について理解する。	[A]①② [B]① [C]① [D]①②
巻末活動	「日本文化新聞」作りを通して、日本文化について英語で説明できるようにする。	[A]①② [B]①

<本時の展開>

時間	学習活動	活動内容	留意点	評価
導入 (15分)	○あいさつ ○宿題と持ち物のチェック ○前回の復習 ○Part4 導入	・前回の授業内容に関する Q&A をスクリーンに提示し、ペアワークで生徒に考えさせ、答えさせる。	宿題や持ち物を忘れた生徒には理由を尋ね適切に指導する。 ・前回の授業内容を確認させてから、本時の授業内容に入る。 ・アフリカの包む文化(カンガ)を紹介し、本時で世界の「包む」文化について理解することを伝える。	[A]①
展開 (34分)	○本時の学習目標を提示 ○新出単語・熟語の確認 ○本文内容の確認・解説	・目標を学習ノートに書かせる。 ・新出単語やフレーズの意味を答えさせる。 ・教員の質問に答えさせる。 ・ペアワークを通して、重要な箇所は生徒同士で日本語訳を考させ、その後クラス全体で内容を確認する。	・しっかりとノートに書いているか確認する。 ・複雑な単語や熟語は例文などを用いて詳しく説明する。 ・本文解説をするだけでなく、生徒が考える活動や、生徒の気づきを大切にする授業展開ができるように心がける。 例：重要な本文箇所は解説をする前に、ペアワークを通して、生徒に日本語訳をさせ、そのあとに全体で確認をする。 ・本時の授業内容に関する	[D]② [A]① [C]① [D]①②

	学習ノートの答え合わせ ○関係代名詞(who)の文の構造を理解する。	・生徒に黒板に学習ノートの解答を書かせる。 ・関係代名詞 who を使い、3人の先生を紹介する英文をノートに書かせる。 ・ペアワークで上記について共有させる。	る補足情報を説明することや、写真・図を提示することで内容の定着を図る。 ・内容を再度確認しながら、学習ノートの答え合わせを行う。 ・生徒が一生懸命英文を書いているか確認する。 ・英文を書くことに苦手としている生徒には、適宜指導をする。	[C]① [D]② [A]①② [B]①
まとめ (1分)	○次回の宿題の確認 ○あいさつ	・スクリーンに次回の授業課題を提示する。		